

# 県内経済の動き

## 概況

〔2025年11月～2026年1月の動き〕

### 緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（11月）は2カ月連続で前月比低下、通関輸出額（12月 細島港）は7カ月ぶりに前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は3カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）は7カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（12月）は3カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（1月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに前年同月比増加した。有効求人倍率（12月）は前月比▲0.05ポイントの1.15倍で、1月の企業倒産は前月比2件減の2件、負債総額は同1億65百万円減の30百万円となった。

景気の緩やかな回復が続いているが、一部に弱めの動きもみられる。衆院選で大勝した高市早苗首相が「責任ある積極財政」をどのように推進するかが注目される。